

会員だより

昨年末終息を見せていたコロナ禍も新たにオミクロン株が出現し、今年になり急激に感染増加が起こっています。広島に感染増加が気になります。

昨年は、病院通い、月 1 回の BOB 会役員会、人の少ない 10 時前のコストコでの買物、強盗に店員が刺された近くのセブンイレブン、広島駅周辺の散歩、それ以外自宅自粛といった生活でした。今年もこの状態が続きそうですが、我家にはこの 3 月で 95 歳になる義母がいます。認知症状が進み一人にして置けない状況です。たとえコロナ禍が終息しても、デイサービスに行っている 9 時から 16 時までが自由な時間であり半自粛生活の様な状態です。今デイサービスから帰って来ました。「ただいま帰りました」の挨拶が始まります。自分の部屋に入りコートを脱いで挨拶。部屋に帰って手を洗いに行く時に挨拶。部屋に帰る時に挨拶。その後トイレの行き帰りに挨拶。その間 5 分ほどです。4～7回あります。8回以上来たことはありません。10分もすれば挨拶すること自体を忘れるのでしょうか。

しかし、何十年前の事は良く覚えています。人間の脳の不思議さ、面白さを感じます。数年前、鳥取砂丘の帰り中国道院庄辺りで、急に児島高德の話を思い出した事がありました。隠岐の島に流されていく後醍醐天皇の宿舎に近づくと警護厳しく救出は困難と思ひ庭の桜の幹に漢詩を書き残した逸話です。

天莫空勾踐 時非無范蠡(天勾踐を空しゅうこと莫れ 時に范蠡無きにしも非ず)

ご存知の方も多いと思いますが、中国春秋時代の呉と越戦いの話です。

臥薪嘗胆の話です。呉王夫差(ふさ)は越王勾踐(こうせん)に敗れた父の恨みを薪の上に寝てその痛さ(臥薪)で忘れず父の仇を討ちます。

敗れた越王勾踐は、肝をなめその苦さ(嘗胆)に屈辱を忘れず、宰相范蠡(はんらい)の助けで夫差を破ります。范蠡は村一番の美人を探し礼儀作法また夫差の趣味嗜好を教え込み、夫差の基に送り込み、伍子胥(ごしよ)などの忠臣を夫差の基から遠ざけ呉の力を弱め戦いに勝利します。後醍醐天皇に、勾踐に范蠡がいるように後醍醐天皇にも范蠡の様な者がおりますと言うことを知らせたのだと言われていました。教養ない警護の者は、漢詩の意味が分からず、後醍醐天皇だけが理解したのだと当時母親が教えてくれました。

村一番の美女というのが中国四大美人の一人と言われた西施(せいし)です。

西施の名は、松尾芭蕉の奥の細道にも出てきます。

秋田の象潟(きさかた)で読んだ句 “象潟や雨に西施がねぶの花”

中国 2 千 5 百年の歴史を持つハニートラップにかかれば、日本のおエライ先生方々などいちころです。

この話は、小学校低学年の頃読んでいた漫画月刊誌の巻頭にカラーの挿絵が入った1～2ページの話です。源平合戦の話が多かった様に思います。

・源頼朝が平家打倒に立ち上がり石橋山の戦いで敗れ、湯河原の山中の洞穴に隠れていたのを見つけられたが見逃してもらった物語。

見逃したのが梶原景時(鎌倉殿の13人の一人です)

・京都にいち早く入った源(木曾)義仲と頼朝の命を受けた義経が戦った宇治川の戦い。

義経配下の佐々木高綱と梶原景時の息子梶原景季が先陣争いをした話。

乗っていた馬の名前まで思い出しました。生月と磨墨(ともに頼朝から与えられた馬)

・一の谷の戦い

鶴越を馬を背負い降りた畠山重忠の話

熊谷直実(くまがいなおぎね)と平敦盛の話(北九州の独身寮で、後輩から「クマタニナオミを知っているか」と聞かれたことがあります!!)

平家の和歌に優れた教養人 平薩摩守忠度(たいらのさつまのかみただのり)が陣屋を 抜け出し自分の和歌を和歌の師匠藤原俊成に届けた話。

後に俊成は、自身が編纂した千載和歌集に1首詠み人知らずとして載せています。

“さざなみや志賀の都は荒れにしを昔ながらの山桜かな”

忠度は、一の谷にて戦死します。

学生時代無賃乗車を薩摩守と言っていました。

この様などうでもよい話(試験などで役立ったことは皆無)を次々と思いましたが……。

今、懸命に昨日の行動を思い出しています。

かなり義母の領域に近づいています。

2022年1月11日(一粒万倍日) 17時10分

越智 省三

